

CASBEE® 京都-新築

標準システム

■使用評価マニュアル: CASBEE京都-新築 (2011年版) | 使用評価ソフト: CASBEE京都-新築2011(v.1.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)平屋町共同住宅	階数	地上11階 地下0階
建設地	京都府京都市下京五条通西洞院西	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火・準防火地域	平均居住人員	140 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年7月 予定	評価の実施日	2014年3月18日
敷地面積	476 m ²	作成者	森村公一
建築面積	414 m ²	確認日	2014年3月19日
延床面積	3,816 m ²	確認者	森村公一



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂ (温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆☆ 100%: ☆☆☆☆ 100%超: ☆

①参照値 100%
②建築物の取組み 79%
③上記+②以外の 79%
④上記+ 79%

(kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです(kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.0

Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.2

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.1

Q3 室外環境 (敷地内) Q3のスコア = 2.6

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.0

LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.0

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.0

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合	太陽光パネルの設置と建物の長寿命化を目指した。	その他 0
Q1 室内環境	F☆☆☆☆の材料をほぼ全面的に採用している。	Q3 室外環境 (敷地内) 美観地区にあり、景観認定書を取得している。
Q2 サービス性能	部品・部材の耐用年数に配慮している。	
LR1 エネルギー	太陽光パネルの設置。	LR3 敷地外環境 自転車置き場の設置台数の適正確保。
LR2 資源・マテリアル	部材の再利用・節水器具の利用。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される